

平成26年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 明光会

1. 平成26年度事業報告総括

平成26年度事業報告総括

平成27年5月28日
理事長 寺田 亮一

(1) 職員教育の徹底

1. 本年の経営目標である「不易流行」とは何かを考える。

〈実績〉4月の幹部職員研修内で「不易流行」について幹部からレポートが有り、その内容について理事長より説明を行う。また、事業計画を周知するための部会内で全職員に示した。

〈達成率〉80%

2. 平成25年度に引き続き、内部研修体制の充実と強化を図る。

〈実績〉平成26年度は、内部研修体制を継続して行った。追加として、平成25年度に不審者侵入が起きたので、防犯訓練を定期的に開催した。平成27年度は、①防犯研修②人権擁護研修③感染症予防研修④腰痛防止研修を追加し、継続した研修内容とならないよう研修内容の見直し等も行える前段階とした。

〈達成率〉100%

3. 各事業を厳正に評価し、研修の教材として活かす。

〈実績〉特にルーチェ仰陽に作業学習を取り入れたこと、就労継続支援A型事業所の開始に伴い、法人内作業を担当する事業所の区別、新規作業の開拓に務めた。

〈達成率〉70%

4. 法人指定の資格取得の推進

相談支援員、サービス管理責任者、ジョブコーチなど業務遂行等に不可欠なものや、法人指定の資格取得及び国家資格の取得を支援する。

〈実績〉相談支援専門員2名、サービス管理責任者6名の資格取得に務めた。現在、社会福祉士への資格取得を2名進めている。

〈達成率〉60%

(2) 指定福祉型障害児入所施設 安倍学園

1. 本年4月より小学部、中学部も静岡県立静岡北特別支援学校に通学することになった。今年度は、通学を完遂することに全力を擧げる。

〈実績〉日課再編成、シフト変更、送迎対応等の課題をクリアし、通学を完遂させた。

〈達成率〉100%

2. 短期入所・放課後支援に積極的に取り組む。また、受け入れについて万全の準備をする。

〈実績〉学校と安倍学園間の送迎があるので、そのまま短期入所を利用できるという面をアピールしたが、市内の放課後等デイサービスが定員割れの状態でも、事業所数が伸びてきていることから、自宅近隣の事業所利用により、当園での利用を大幅に増やすことはできなかった。

〈達成率〉 60%

3. 定員確保に努める。

〈実績〉 平成26年度は、新規入園者が1人もいなかった。上述の放課後等デイサービス、児童発達支援事業所といった通所系の利用ニーズが増え、入所希望自体が減少している実態がある。平成27年4月からは、定員を20名に引き下げる。

〈達成率〉 0%

4. 児童用グループホームの新設を検討する。

〈実績〉 新規入園等の状況による検討であったが、(3)のような状況にあるので、計画中止となった。

〈達成率〉 0%

(3) 指定障害者支援施設 ルーチェ仰陽 (旧安倍寮)

1. 平成25年度の事業計画でルーチェ仰陽(旧安倍寮)のコンセプトは「快適」とした。今年度は、コンセプトが真に機能しているか検証する。

2. 各居室の清掃、付属設備の保守点検を徹底して行う。居室の消毒、消臭に努め、悪臭の原因を究明し、原因の一つが疾患にある場合は、完治するまで通院治療をし、必ず経過報告をしなければならない。

3. 居室の編成を改め、「快適」を阻害する原因の除去及び、緩和に努める。

〈実績〉 個室希望の方への対応として、ルーチェ仰陽2号館(3床)の増築計画、実行。健康づくり推進センターの指示で空気清浄機の設置をする、エアコン等の定期メンテナンスの検討等、ハード面での対応を行った。ソフト面では、消毒、消臭に効果的な清掃方法を検討し、実行した。疾患による場合は、定期通院等により医師の指示を頂き、対応を行った。

〈達成率〉 60%

4. 外出の定例化を図る。

〈実績〉 外出の定例化は、取り組むことができなかつた。

〈達成率〉 0%

5. 外部講師の導入を活発に行っているが、その目的は、職員が講師のスキルを身に付け利用者に還元することも含まれる。講師は、利用者と職員双方の家庭教師である。利用者だけ学ぶためのものではない。職員は講師から積極的に学び、利用者に講師来訪以外にも支援できるように技術習得に努めなければならない。「その時間限り」や「講師まかせ」等にしてはならない。

〈実績〉 今後のグループ毎の活動も視野に知識、技術の習得を目標として取り組んだ。

〈達成率〉 50%

6. 定員確保に努める。

〈実績〉 平成26年度は、地域移行者が2名、新規利用者が0名。平均利用者数26.3名・利用率97%と、利用者のニーズに少しずつ取り組めた。年度末には、2名の減員であるが、待機者が常時20名以上いる現状から、面談等を実施し、定員確保に引き続き努める。

〈達成率〉 90%

7. 15部屋の居室を2人部屋12部屋、1人部屋3部屋にして1人部屋希望の利用者の要望に応える。

〈実績〉居室編成の見直しを行い、実施した。

〈達成率〉 100%

8. 短期入所、日中一時支援に積極的に取り組む。短期入所用2部屋、定員2~3名を用意する。

9. 一人部屋希望者のために新たに、3部屋増室する。

〈実績〉ルーチェ仰陽2号館の整備工事に着手した。平成27年4月17日に完成した。

〈達成率〉 80% (平成26年度末では、工事途中のため)

10. 指定障害者支援施設 安倍寮の名称をルーチェ仰陽と名称変更を検討する。

〈実績〉創立記念日である12月1日に合わせて、長年親しまれてきた安倍寮の名称を、通所の雰囲気を持つルーチェ仰陽に変更した。

〈達成率〉 100%

(4) 指定生活介護事業所 ルーチェ仰陽

1. ルーチェ仰陽の支援原理を、生活単元学習とし、とりわけ作業学習を中心に支援する。

2. 作業学習の成果物に対して工賃を支給する。

3. 工賃の支給できる作業を開拓する。

〈実績〉作業学習を取り入れ、3月の保護者参観会時に工賃支給式を行った。日課の再検討、職員体制の強化を行い、さらにレベルをあげられるようにする。

〈達成率〉 70%

4. 体力増進、体力維持の為に、散歩、歩行を規則正しく行う。

〈実績〉作業活動との区分けをし、時間を充てるようとする。園内歩行等を行った。

〈達成率〉 50%

5. 定員確保に努める。

〈実績〉新規利用者1名、平均利用者数51.2名・利用率85%・平均障害程度区分

4. 5. 設備の状況もあり、タイミングを見て受け入れを行う。

〈達成率〉 70%

(5) 指定就労継続支援B型事業所 安倍野工房

1. 工賃倍増5か年計画を実行する。

〈実績〉目標工賃21,500円に対し、実績平均工賃21,914円を達成した。

〈達成率〉 100%

2. 安倍野工房あるいはけやきワークセンターに、就労継続支援A型(以下A型)を併設し、A型対象者を20名を限度に増員する。A型利用者には主として洗濯業務を用意し、現在外注しているシーツ、枕カバー等の洗濯を自前で出来るようとする。

3. 安倍学園・ルーチェ仰陽・ファミィーウさんあい等の清掃、消毒、消臭を各居室まで拡大し、B型利用者の工賃とA型利用者の報酬確保を計る。単独化については現段階ではメリットが見込まれないので、しばらくの間単独化は行わないことにする。

4. さつき、けやきワークセンターと協働し、A型希望の利用者を募集する。

〈実績〉就労継続支援A型事業所は、けやきワークセンターとの多機能型にすると決まった。報酬確保の面では、新規作業の開拓ができ、法人内受託作業とともに進めていく。

利用者確保については、連携のもと確保できた。

〈達成率〉 70% (けやきワークセンターとの連携)

5. 定員を確保する。

〈実績〉 平均利用者数20.7名・利用率104%と定員を確保する事ができた。

〈達成率〉 100%

(6) 指定就労継続支援A型事業所 ヴェルデあべの（仮称）の建設設置

〈実績〉 年度内に行政への確認、法人内打ち合わせ、各種規程の策定、作業内容・利用者給与面の検討等を計画的に行い、3月申請、審査結果書の受理をした。名称は、ヴェルデあべのに決定した。建物については、安倍分教室の使用していたプレハブ倉庫を当面の作業室とし、平成27年12月を目処に就労棟の建設を予定している。

〈達成率〉 50%（建設予定の段階）

(7) 指定生活介護事業所 ヴィヴィアーチェあしくぼ

1. ヴィヴィアーチェあしくぼは、平成25年度に引き続き作業学習を取り入れる。作業学習の成果物に対しては工賃を支給する。

〈実績〉 作業学習は継続して取り組めている。工賃については、平成25年度の平均工賃2,321円に対し、平成26年度の平均工賃は2,657円と336円アップした。

〈達成率〉 100%

2. 健康管理に努める。

〈実績〉 看護師の常勤配置ができたので、体温、血圧の測定を行った。保護者からの相談等も増え、健康に対する意識を強めることができた。

〈達成率〉 80%

3. 体力維持、体力増進に努める。

〈実績〉 カーブス運動を継続して行っている。普段の登園、着替え、食事等の日常生活訓練の中にも体力維持の要素が含まれているので、意識して努めていく。

〈達成率〉 80%

4. 定員を確保する。

〈実績〉 平均利用者数32.3名・利用率81%・平均障害程度区分4.2と定員を確保する事ができた。

〈達成率〉 100%

(8) 指定就労継続支援B型事業所 フォルテあしくぼ

1. フォルテあしくぼは、工賃倍増に努める。

〈実績〉 目標工賃21,500円に対し、実績平均工賃23,700円を達成した。

〈達成率〉 100%

2. 新しい授産商品を開発する。

〈実績〉 電解次亜水の生産と販売

〈達成率〉 100%

3. 販売店の開拓をする。

〈実績〉 販売店の開拓はできなかつたが、新たなチャレンジとして露店の許可を取得し「郷島煙火大会」「第52回静岡夏祭り夜店市」に参加し富士の白雪アイスを販売した。地域のお祭り「里山フェスタ」「第4回あしくぼ家康公のお茶まつり」「大仙寺御薬師祭り」に参加させて頂き自主製品を販売した。

〈達成率〉 100%

(9) 指定就労移行支援事業所 けやきワークセンター

1. 就職率及び定着率を上げるために努める。

〈実績〉 就職率は87%を維持した。

〈達成率〉 100%

2. 訓練種目の開拓。

〈実績〉 タッチディスペンサー補充・清掃、事務作業（検食日誌打ち込み作業）、職員販売用商品並べ（福祉楽市在庫商品）、テント屋根拭き、タオルの袋詰め（オクムラ㈱）期間限定作業として、日本平さくらマラソンの参加賞）、新茶の手摘み体験（よしもとファーム）。

〈達成率〉 100%

3. 当分の間、A型事業を安倍野工房あるいはけやきワークセンターで多機能型で行うので、A型の求人を安倍野工房やけやきワークから募集する。

〈実績〉 就労継続支援A型事業所は、けやきワークセンターとの多機能型にすると決まった。報酬確保の面では、新規作業の開拓ができ、法人内受託作業とともに進めていく。利用者確保については、連携のもと確保できた。

〈達成率〉 90%

4. ジョブコーチの資格取得に努める。（現在取得者2名）

〈実績〉 ジョブコーチの資格を取得すると、静岡県障害者職業センターから働きを求められ、また障害福祉サービスの職員との兼任ができないとの要件も有る。職員体制の確立を先行し、今年度は、進めていない。

〈達成率〉 0%

5. 定員確保に努める。

〈実績〉 平均利用者数15.9人・利用率80%。短期に就職する方が多いのはとても良い実績だが、その退所を埋める新規利用者をさつき・北斗と連携して利用に結びつける。

〈達成率〉 70%

(10) 指定共同生活援助 グループホーム ファミィーウさんあい

1. 定員確保に努める。

〈実績〉 平均利用者数27名・利用率90%。地域移行者は3名。新規利用者は2名であった。

〈達成率〉 100%

2. ファミィーウさんあいでの自家給食を進める。

〈実績〉 月に1回の利用者との昼食提供支援はできてきている。回数が増えるようにしていく。

〈達成率〉 50%

3. 定期的に外出する。

〈実績〉 年間行事は、計画的にできている。個々の要望に応えられていないので、計画的に進めていきたい。

〈達成率〉 60%

(1 1) 指定相談支援事業所「北斗」「さつき」

1. 北斗は、サービス等利用計画相談の完遂に努める。

〈実績〉 静岡市全体の利用者数には満たなかったが、相談員がとにかく完遂に向けて奮闘してくれた。

また、市内の社福法人から虐待を受けた方からの相談を受け、理事長自ら支援者の代表として、市議会議長を訪れ、行政が適正に対応するように厳しく申し入れをする等、明光会の伝統である弱者を守る事に徹する支援姿勢が相談者から頼られ、市内で随一の虐待の相談が出来る法人としての評価を高めた。

〈達成率〉 100%

2. さつきは、けやきワークセンターと協働して、事業所紹介の中にA型事業を行う予定のけやきワークセンターや安倍野工房を入れ、利用者募集に協力する。

〈実績〉 利用者6名を確保できた。

〈達成率〉 60%

(1 2) 日中一時支援事業・短期入所事業の活性化

1. 安倍学園の通学に合わせて、宣伝し活性化を図る。

〈実績〉 多くを受け入れることはできなかったが、平成25年度よりは登録者も増え、利用は多かった。

〈達成率〉 60%

2. ルーチェ仰陽（旧安倍寮）については、定員減員の分、出来る限り需要に応じる。

〈実績〉 法人内通所利用者の利用が多くあり、平成25年度よりも大幅に需要に応じることができた。

〈達成率〉 100%

(1 3) 明光会会館の設立計画の延期

〈実績〉 先行しなければならない建設があるので、延期をしているが、補正予算時に資産状況により工事費用の積立を開始した。

〈達成率〉 10%

追加項目

(1 4) 人材確保に向けた取り組み

1. 明光会独自の退職金制度の設置

現在は、給与月額36万円分までを国の退職共済制度、プラス2万円分を県の退職共済制度の2本立てで、法人が掛け金を負担し、職員の福利厚生に努めている。しかし、他の社会福祉法人の中には、市職員並みの退職金制度を設置している法人もあり、その部分については対応が遅れていた面があった。今年度補正予算時に退職金積立に関しての資産状況により判断し、役員会で承認を得た。職員への周知、求人票への記載を進め、取り組みを発信していく。

〈達成率〉 90%

2. 託児所の整備

人材確保が急務となっている。大規模工事計画と合わせて、整備計画を進めている。

〈達成率〉 60%

(15) 大規模工事に関する積立金の設定

中長期計画にもあるように今後も大規模改修工事が控えているので、補正予算時に資産状況により工事費用の積立を開始した。

〈達成率〉 100%